

議会広報

かみいち

2023

37号

令和5年10月16日



9月定例会の要点 P2
委員会報告 P3
一般質問 P4~13
町議会各委員会等新体制 P14
視察・研修報告 P14~15
町民の声 P16

**(写真) 竹で作る流しそうめん
相ノ木児童クラブ育成会8月6日(日)**

発行 / 上市町議会
編集 / 議会広報特別委員会



令和5年(2023年)9月定例会の審議の要点

9月定例会は、9月7日(木)から9月22日(金)までの16日間にわたり開かれました。専決処分の承認を求める議案1件(一般会計補正予算)、令和5年度の一般会計・特別会計・病院事業会計の補正予算4件、条例一部改正5件と令和4年度決算認定10件、合計20件の議案について審議しました。

すべて原案のとおり承認・可決・認定しました。また、令和4年度決算に基づく2件の報告がありました。追加議案の人事案件については、任命に同意しました。

● 令和5年度補正予算 ●

一般会計補正予算……………2億886万円増額 (総額108億5918万円)

後期高齢者医療事業特別会計補正予算…337万円増額 (総額7億1782万円)

国民健康保険事業特別会計補正予算…242万円増額 (総額20億232万円)

病院事業会計……………債務負担行為 令和6年度限度額 1億9000万円

(債務負担行為:予算は単一年度で完結するのが原則だが、あらかじめ後の年度の債務を予算で決めておくこと)

議案内容と主な事業

豪雨災害復旧事業

6407万円

- 町道大岩・上浅生線災害復旧工事
- 町道大松・滝谷線災害復旧工事
- 一口用水取水口災害復旧に伴う重機等借上料
- 農地、農業用施設災害復旧事業



大岩・上浅生線災害現場

企業誘致推進費 7068万円

- 空き家利用のサテライトオフィスに補助
- 企業立地助成金(リードケミカル株式会社)



リードケミカル包装物流棟

県施行街路事業負担金

1229万円

- 横越荒田線 (工事再開)



ネットワーク推進費

1508万円

- 議会中継設備更新工事

委員会報告

総務教育 常任委員会

総務課

防災訓練等の活動助成金を現在の2万円から増額できないか。

新年度予算に向けて検討する。

財務課

町税のコンビニ納付、スマホ決済の現状は。

固定資産税、軽自動車税は、既に導入済。

9月補正でシステム改修し、令和6年度より、国民健康保険税、住民税にも導入する。

企画課

役場窓口手数料のスマホ決済は来春から本格的に実施するのか。

今年10月から町民課等の窓口で試験的に導入し、来年3月まで実証実験を行う。4月以降の本格導入については効果を検証し判断する。

教育委員会

全国大会の引率状況と費用負担は。

部活動は教員が、地域移行したクラブは指導者が引率している。交通費、日当は、町が全額負担している。

中学校の野球部がなくなるのが非常に残念。チームスポーツの維持は難しいのか。

子ども達が減っていく中でチームスポーツの維持は難しい。できるだけ子ども達の選択肢が増えるよう環境を整えていきたい。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査は了承。

産業厚生 常任委員会

福祉課

町の放課後児童クラブ事業に従事している人数は。

8月末現在、29人（内、23人が放課後児童支援員の資格認定研修を受講済）

放課後支援員の資格取得

得の条件は。

一定期間の経験年数があれば良い。

産業課

園芸産地プラン推進事業の内容は。

農事組合法人「あいこー」が上荒又地区でたまねぎの実証栽培を実施する。



たまねぎ実証栽培

6月豪雨の際、白岩川が越水し、水が流入した田んぼは、稲刈りが出来たのか。

収穫量は減っていると思うが稲刈りは終わっている。

建設課

県外転入者空家改修支援事業補助金の対象家屋と今年度の利用件数は。

農事組合法人「あいこー」が上荒又地区でたまねぎの実証栽培を実施する。

は。横越荒田線の開通時期は。

道路改良工事の工期が12月中旬となっており、その後、舗装工事等が発注される。

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査は了承。

本会議の様様を上市町公式YouTubeで公開中

本会議(9/7) 提案理由説明等
 本会議(9/13) 一般質問前半
 本会議(9/13) 一般質問後半
 本会議(9/22) 委員長報告等



本会議審議の結果はこちらから↓



一般質問

一人ひとりが災害認識を
「自分の身は自分で守る」

松谷 英真 議員

災害時の対策について

議員

① 災害対策本部の設置について

② 現地の状況確認について

③ 避難指示の発令と連絡方法について

④ 地域防災訓練の実施について

⑤ 防災備品の確認及び設置方法について

⑥ 避難指示の解除について

総務課長

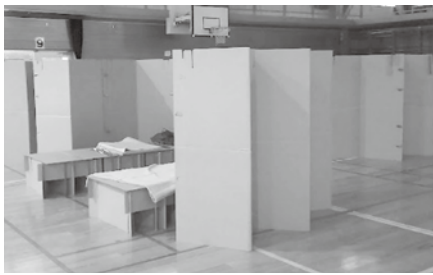
① 災害対策本部の設置はせず、町長指示のもと関係機関職員の連携に努めた。

② 現地の確認は、県・町の観測情報を基本に行い、現地は消防署・消防団による巡回を実施。

③ 避難指示の発令は、区長への連絡や、防災行政無線・エリアメールによる周知。町職員は避難所の運営にあたり、消防団や自主

防災行政無線・エリアメールによる周知。町職員は避難所の運営にあたり、消防団や自主

防災会・地域の皆さんに避難状況の確認をお願いしたい。④ 自主防災訓練は年1回できるよう助成金を準備、校区単位は年1回開催している。今後は避難所開設の訓練等を実施したい。⑤ 避難所開設については、ベットやパーテーションの設置など職員への訓練を実施する。防災備品についても物品の見直しを行う。⑥ 避難指示の解除は、客観的データに基づいている。「早く家に帰りたい」との思いとは相容れないかもし



避難所開設状況

れないが、安全第一に考えたい。

今夏の災害の現状と復旧について

議員

① 災害の現状と復旧計画について

② 白岩川ダムの放流計画と、県への要望について

建設課長

① 豪雨災害は、町道で3件の路肩欠損。河川では白岩川、大岩川など9件の護岸欠損と大岩川での五ヶ用水の崩壊。上市川第2ダムでは流木と土砂の堆積。県道の路肩欠損など合計11件で県から国に申請し工事が行われる。

② 林道では8路線24件の土砂の流入や路肩の欠損、法面の崩壊などの被害。農業施設では畦畔や法面の崩壊、用水路の崩壊や土砂の堆積など54件の被害。

特に大岩川に接する五ヶ用水では応急仮工事で被災直後にポンプを設置し50haの農地に水を確保した。



五ヶ用水の崩壊現場

林道で12件、農地で7件を国の災害復旧事業として申請、査定を受け工事の発注をする。

40万円未満の小規模な工事は、町単独災害復旧として工事を行い、今災害に限り補助率を60%から80%に引き上げた。

②ダムの放流は県において検討される。注視したい。

再質問 町長より
災害への思いを

町長

富山県では初めて線状降水帯が発生。全国を見ても、大雨による災害が想定を超える規模で発生している。避難所を4か所開設したのは初めてであり、避難呼びかけ方法、避難所での対応など、改善点は多々ある。改善すべき点は改善し、次に起こるかもしれない災害に備えたい。河川の改修も強力に要望していく。

これからの災害対策は、行政の公助だけでは十分ではなく、自分たちで守る自助・共助の意識で、「自分の身は自分で守る」ことが不可欠である。



豪雨時の避難指示 農業支援事業と特産農産物

廣田 泰三 議員

豪雨における避難指示について

議員 豪雨による河川の氾濫等の水害に対する避難指示を発令する場
合において、ハザードマップを基に避難が必要なエリアを区切つて避難指示を発令できないか。

総務課長 避難指示の発令については、地震災害などの場合、原則、その地区全体を対象に発令することとしている。ただし、水害など被災する可能性が特定の場所に限られるような場合においては、稗田地区のように対象範囲が広い地区全ての住民を対象として、避難指示を発令する必要が無い場合もあると考える。

このため、今後は、水害の場合において

は、例えば、「対象地区の内大岩川沿いの地域」といったようになるべく具体的な危険箇所を明示したうえで、避難指示を発令することを検討したい。

なお、水害では、避難所への避難だけではなく、家屋の上階へ移動する垂直避難により身の安全を確保する方法もあるので、こうしたこともしっかりと周知していく。



白岩川の増水（千坊橋付近）

町の特産農産物と認定新規就農支援事業

議員 水稻以外の特産農産物の出荷量は、

農業の担い手となる新規就農者への支援事業と将来の町の特産物としてのサツマイモの有効性は。

産業課長 昨年の特産農産物の出荷量は、さといも53・3トン、白ねぎ19・2トン、りんご4トン、しょうが564キログラムで白ねぎとしょうがは若干減っているが例年並みの出荷量とのこと。

5年後の経営目標を掲げた「青年等就農計画」を認定した新規就農者は、現在、個人では5経営体、法人では1経営体となつている。これらの新規就農者には、国、県の補助を受け独立して農業を

始める際に必要な設備の初期投資資金や各種給付金などを交付し新たな農業の担い手として農業経営の早期安定に繋がるよう支援している。

認定新規就農者の中の1人が11月に県が実施する「とやま食品輸出拡大フェアinバンコク」にサツマイモを出展する予定である。サツマイモ栽培に意欲的に取組んでいるが経営基盤が安定するまでには、今しばらく期間を要すると見込まれる。

サツマイモを経営品目として栽培している経営体は、現時点ではごく僅かである。まずは、サツマイモ栽培に關して、関係機関と連携し技術面や経営面において支援していきたいと考えている。



サツマイモ畑



サツマイモの収穫

一般質問

脱炭素に向けた取り組み



松本 寛 議員

今後の展望は

議員 大容量蓄電池の普及が一般化した場合、クリーンではあるが出力が不安定とされてきた太陽光発電や風力発電、小水力発電もより効率的に利用可能であると聞くと、上市町の再生可能エネルギー導入や脱炭素社会への取り組みは現状どうなっているのか。

町民課長 昨年12月定例会において、2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出実質ゼロを目指す上市町「ゼロカーボンシティ」宣言を行った。

現在は、戦略策定に必要な太陽光や小水力など様々な再生可能エネルギー導入のポテンシャル調査や、町内企業に対し脱炭素に向け

た取り組み状況のヒアリング調査を実施している。

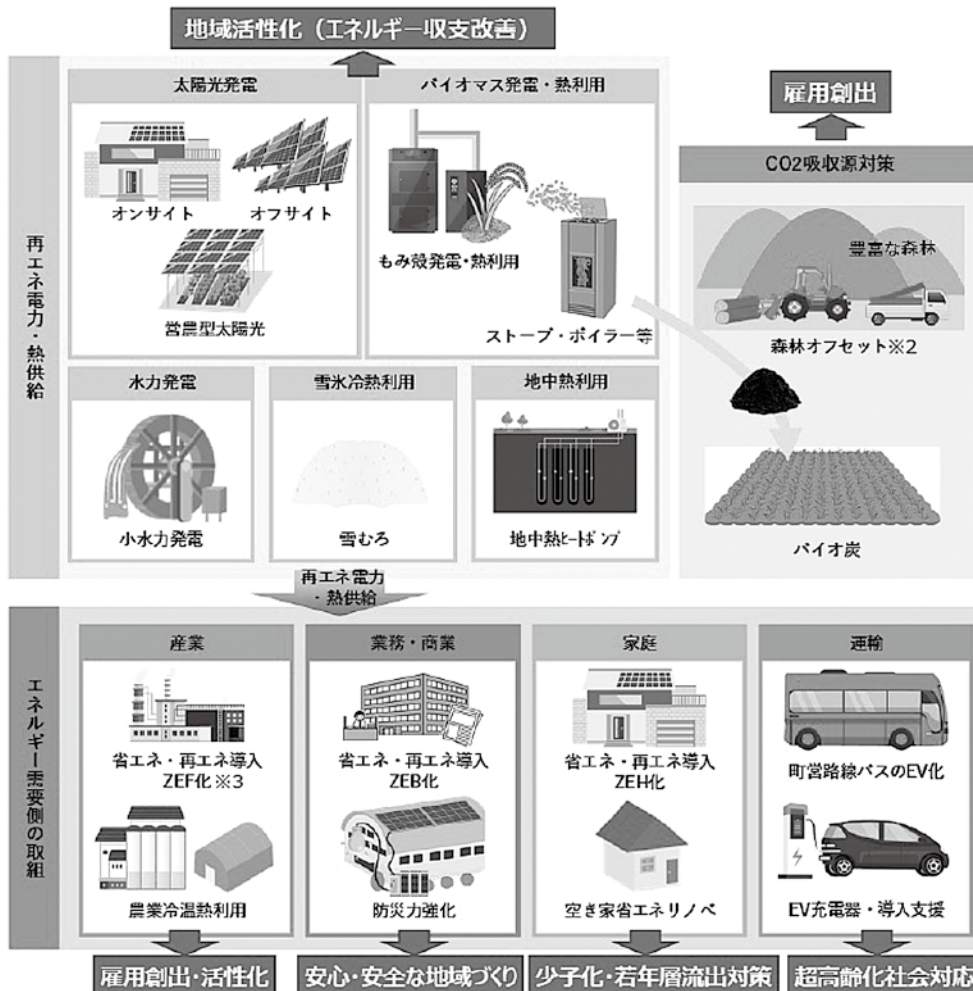
富山国際大学現代社会学部教授の上坂博亨氏を会長とし、北陸電力や町内の様々な事業者で構成する上市町ゼロカーボン戦略推進会議を8月中旬に立ち上げた。

大容量蓄電池整備は

議員 公共施設への大容量蓄電池の設置を検討する可能性はあるか。蓄電池の整備が進めば、災害時の電源としての利用ができる。

町民課長 戦略策定後に公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査を行ったうえで、公共施設の脱炭素と防災拠点としての強靱性向上のため、太陽光発電等の再生可能エネルギー

一設備・蓄電設備の導入などを進めていきたくないと考えている。段階を踏みながら、エネルギーの将来ビジョン（政府資料より抜粋）





将来の水道料金値上げ 自転車の損害賠償保険加入

寺西庄司 議員

水道事業の現状

議員 町の水道事業の現状と、水道事業経営はどうか。

町長 水道事業については、町の水道管・約224kmのうち老朽管路・約81kmあり、毎年2億円程度の費用をかけて、約2kmずつ更新しているが、現在の老朽管路を更新するだけでも40年を必要とする現状である。水道料金を抑えるために、老朽管更新費用のうち半分は長期借入金で賄っている。

また令和5年度当初予算では、町の一般会計からも水道事業に3800万円を出資するとともに、国の交付金を活用するなど、より一層の収支改善に努める。

料金改定のスケジュール

議員 上市町水道料金等検討委員会が、現行料金から15%程度の水道料金値上げが適当とする提言書を町長に出している。この値上げは、私たちの家計に対し大きな負担となる。そこで、実際の値上げは、いつ頃と予定されるのか。そして、町民の皆様に対する周知期間は、十分に確保するのか。

町長 令和6年度の予算編成の中で、社会・経済情勢の変化や、水道事業の収支見込みを注視しつつ、引き上げ幅をどの程度とするか、単年度もしくは複数年度での段階的な値上げとするのかなど方針を固め、令和7年度以降の料金改定に向

1ヶ月に20㎡使用時の水道料金(例)

使用口径	改定前	改定率15%の場合	値上がり額
13mm	2,900円 (税込3,190円)	3,335円 (税込3,668円)	435円 (税込478円)
20mm	2,940円 (税込3,234円)	3,381円 (税込3,719円)	441円 (税込485円)

上市町水道料金等検討委員会の詳細はこちらから ↓



け、検討していく。なお、水道料金の改定を行うに当たっては、周知期間を1年間は確保すべきと考えている。町民の皆様には、水道事業の厳しい経営環境に、ご理解をいただきたくお願いしたい。

自転車の保険

議員 自転車事故の増加が心配だ。特に児童が乗る自転車保険への加入促進の為に、町でも補助制度を設けてはどうか。

町民課長 富山県では、平成31年に施行された富山県自転車活用推進条例において、自

転車損害賠償保険への加入を努力義務としているが、全国的には、努力義務から加入を義務付ける方向へとシフトしてきているため、富山県が義務化に移行した時点で、上市町として、補助制度の必要性について検討したいと考える。

自転車とヘルメット



一般質問

まちづくりの方向性
自然災害への対応

廣田 透 議員

まちづくりの方向性

議員 閉鎖商圏といわれる上市町から国道8号線などの幹線道路へのアクセスの向上を将来的に行う予定はあるか。

建設課長 国道8号線など幹線道路へのアクセス道路の整備は、町の広域的な交流促進や産業等の振興に寄与するものと考えている。

県では、主要地方道上市北馬場線のバイパス道路として、平成24年度から都市計画道路横越荒田線の整備を進めてきたが、先般、ようやく未完成区間の用地売買契約を終え、既に道路改良工事が発注済



工事中の横越荒田線

みの状況となつている。

町市街地を縦貫する本路線が完成すれば、町市街地から上市スマートインターチェンジだけでなく、国道8号線へのアクセス性が格段に向上することから、できるだけ早期の開通を期待している。また、上市スマートインターチェンジと国道8号線を約2キロメートルで直結し、国道

8号線へのアクセス性に優れている、一般県道上市水橋線の東江上から弥市までの間は、道路の路肩が狭いことから、町では機能強化が必要と考えており、昨年度から県への重点事業として本路線の拡幅整備を要望している。

自然災害への対応

議員 6月及び7月の豪雨では上市町にも大きな被害が出た。

①避難指示の内容が地域によって異なった原因は。

②災害対策本部が設置されなかったが、指示系統は的確に機能していたか。

③避難所の食料備蓄品は十分であったか。

総務課長

①一部地域によっては

内容が異なる部分があったため、垂直避難も含めあらかじめ定型の文面を準備し、水害、土砂災害など災害の内容にあわせた周知を図る。

②町長の指示のもと、避難指示の発令や避難所の開設、物資の輸送等にあつたものであり、指示系統はしっかり機能していたと考えている。

③当町では、災害時に避難所等へ提供するための食料として、アルファ米を約4000食分、飲料水については500mlペットボトル約2000本を備蓄している。避難が長期にわたる場合には、災害時協力協定を締結している事業者から供給を受けて対応する計画としている。



上市中学校に開設された避難所

産後ケア事業内容と周知方法は



椎名 寛子 議員

産後ケア事業とは

議員 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制は、大変重要であるが、産後ケアについての事業内容や周知方法は。

福祉課長 産後ケア事業とは出産後1年以内の母子に対し、心身のケアや育児のサポートを行い、安心して子育てができる支援体制の確保を目的とする。

今年度からは、かみいち総合病院の助産師等が実施する「居宅訪問型」と「観光施設利用型」のサービスも拡充した。利用申し込み状況は、昨年度までは、0件だったが、今年度は、現在25件と大幅に増えている。国の要綱では、サービスを受けられる方は、「心身の不調又は育児不安等がある者」「特に支援が必要と認められる者」に限られていたが、7月からは産後ケアを必要とする人は誰でも利用できるように改正されたため、今後更に申し込みは増える」と推察される。

助産院との連携

議員 7月に富山市長江から上市町郷柿沢に助産院が移転してきた。

福祉課長 町内で開業した「プラットフォーム助産院」には、新生児訪問、産前産後サポート事業として実施

する子育て支援教室、パパママ教室に講師として協力をいただいていたが、産後ケア事業についても、かみいち総合病院のスタッフで手が回らない分のサポートを受けるため、デイケア型と居宅訪問型の業務委託契約を8月に締結した。

産後ケアを町外の方も受けることは可能か

議員 里帰り出産の方は産後ケア事業を利用できないが、妊婦がどこで出産しようとも必要があれば、産後ケア事業を受けることができるよう体制を整えるべきではないか。

福祉課長 産後ケア事業については、町内に住まいの方の支援を手

厚くする考えで行っている。残念ながら上市町に住民票がない方は、補助対象外である。里帰り出産をするということは、自分の家族に産前産後のケアを一定程度頼める状況にあるように思えるが、産後ケアの内容には産後の母体管理なども含まれるため、里帰り出産まで対象に含めるか今後慎重に検討したいと考えている。

三重県菟野町

里帰りの方への対応

背景

菟野町では、三重県助産師会の協力を得て、令和元年に訪問型の産後ケアを開始したことを皮切りに産後ケア事業を実施している。産後うつ防止という観点からも、里帰りで支援が途切れてしまうことを防ぐべきだという考えのもと、継続的な支援ができるように体制を検討した。

工夫

事業開始にあたり、保健師の訪問では母乳に関するケアや産婦の抱える出産時の振り返りが十分にできないとの思いから、産婦健康診査の結果を踏まえ、助産師の専門知識を基にした事業を行うことになり、県助産師会に委託した。県助産師会に委託することで、町内の開業助産師以外の産後対応も可能となり、県内の里帰り先でも継続的に支援を得られることができるようになった。里帰り期間になる場合であっても、支援が途切れることなく、必要なタイミングでタイムリーに訪問できるようにすることで、自宅に戻った際にも必要な支援につなげるようにした。

静岡県浜松市

市民以外の里帰りの方の受け入れ

背景

厚生労働省の「産前・産後サポート事業ガイドライン」に里帰り出産を受け入れることが望ましいとの記載があり、それに共感し、里帰り出産の受入を開始した。

工夫

浜松市では、浜松市に長期滞在中に何らかの支援が必要な状態になった場合は利用を受け入れている。申し込みプロセスは浜松市民と同様である。一方、里帰りの定義が曖昧な点は課題として挙げられる。特に、利用可能月齢を伸ばしたことにより、浜松市内で出産しただけでなく、一定月齢がたったあとに里帰りし、その間に産後ケアが必要になるようなケースも想定される。現状は、ある程度長い滞り状態に在るケースであれば広く受け入れている。実際、想定よりも多くの利用があり、ニーズの多さを認識している。

令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「産後ケア事業及び産婦健康診査事業等の実施に関する調査研究事業」

一般質問

視覚障害者へのサービス向上を町のGIGAスクールの取組他



酒井一好 議員

視覚障害者へのサービス向上

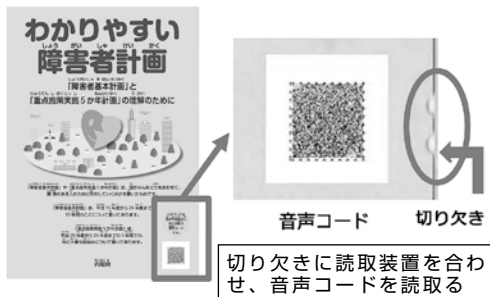
議員 視覚障害者数の近年の推移と音声コード読取装置の支給要件と状況はどうか。また、音声コードの活用を求める。

福祉課長 視覚障害の身体障害者手帳所持者は8月末時点では42名で内17名が1級手帳所持者である。ここ数年横ばいで推移している。

読上げ装置の支給要件等は、視覚障害の身体障害者手帳2級以上で、所得割が46万円未満の方が給付対象であるが、給付実績は無い状況である。そうした中で、音声コードは、携帯電話やスマートフォンなどを使って文書を読み上げ、紙面の情報を得ることができ、

近年、視覚障害者にとって利便性のあるツールとして活用されている。無料アプリで対応できるので、視覚障害の身体障害者手帳の交付時には、そのアプリの案内や周知を行っている。

視覚障害者向けに書類やチラシを配付するに当たっては、できるだけ音声コードが掲載されたものを選定するなど、視覚障害のある方への配慮と支援に努めていく。



音声コード例（内閣府資料）

GIGAスクール

議員 一人一台端末の活用状況と運営支援センターの支援状況と活動実態は。

教育委員会事務局長

今年度の全国学力学習状況調査のうち、学校でのタブレット端末

などICT機器の活用状況に関する調査では、ほとんどの項目で富山県平均と同様となっているが、タブレット端末の授業での活用頻度については県平均及び全国平均を下回った。その一方で、「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でのタブレット端末の使用割合」では、小中学校ともに県平均及び全国平均を大幅に上回っている。

GIGAスクール運営支援センターは、小

中学校からの電話相談に対応し、相談内容によっては機器等の保守担当事業者や各学校を巡回するICT支援員へ伝達するなどいわゆる交通整理の役割を担っている。令和4年度の相談実績は106件となっている。

学校現場では、運営支援センターと緊密に連携し、直接の支援にあたるICT支援員の役割が特に重要であり、現在週1日程度であるICT支援員の在校日数を増やしてほしいとの要望があがっており、新年度予算編成の中で議論していく。

議員 一人一台端末を児童生徒の各種相談に活用してほしい。

教育委員会事務局長

文部科学省から示された活用方法を参考に、一人一台端末を活

用した相談体制が取れるよう、現在、アプリケーションを使用したアンケートの作成を、ICT支援員に検討してもらっているところであり、子供たちからのサインをいち早くキヤッチできるよう、早急に対応を図る。



一人一台端末のイメージ

釈泉寺橋に架かる送水管の不具合 小中学校における熱中症対策



當波紀子 議員

釈泉寺橋に架かる送水管の不具合

議員 釈泉寺水源池から眼目配水池へ水を送る送水管が釈泉寺橋上で取り外されているが、不具合の内容と整備方針は。

建設課長 南加積地区の大部分を賄っている眼目配水池の水源は、釈泉寺水源地の井戸であり、汲み上げた地下水を途中で上市川を2回横断し、眼目配水池へと送水している。釈泉寺橋に添架している送水管は、管を支持する鋼材の老朽化により、鋼材が座屈するとともに、送水管が変形し落下が懸念される状態で

釈泉寺橋の老朽管



あることが、本年3月末に判明。4月に関係機関と協議し、約20mを撤去し、代替送水路トとして上市町浄水場からの送水に切り替え、眼目配水池への安全な送水路トを確保した。今回は暫定的な対応であり、現在実施中の上市町水道ビジョンの改定において、更新スケジュールや別ルートとの確保など方向性を検討する。また、配水管の漏水

小中学校の熱中症対策

議員 予防の啓発、環境整備、緊急対応の準備はできているか。

教育委員会事務局長

各学校では担任や養護教諭から保健指導と日々の健康観察を丁寧に行い、児童生徒は持参した水筒から適切な水分補給を行うよう指導している。設備面では県内市町村に先駆け

に起因する眼目配水池の水位低下が発生し、断水の恐れが生じた8月22日には、住民の皆様には防災無線や町のホームページ等で節水の呼び掛け、関係地区の各区長を通じて節水をお願いをした。今後一層の注意を払い、漏水の早期発見に努め、速やかな情報発信に努めていく。

黒部宇奈月キャニオンルートの効果

議員 新ルート運行に連携して観光プロモーションの予定は。

て町内全校の各教室にエアコンを設置し、体育館等では大型扇風機を利用している。「暑さ指数」を参考に教室の温度調整、屋外活動の可否を判断し、グラウンドの水まきやミストシャワーの配置など、工夫して対策を実施している。給水器は衛生管理の面から設置していない。保健室には経口補水液やお茶等を備えている。万が一熱中症が発生した場合は教育計画において救急及び緊急連絡体制のマニュアルを整備し、教員間で共通理解を図っているため、適切に対処できる。

産業課長

本ルートの運行開始は当町に観光客を呼び込む良い機会と受け止めている。今後本ルートのPRも含めて、来年3月の北陸新幹線金沢敦賀間開業に合わせて北陸3県が連携して実施する「北陸ステイネーション」がある。11月に福井県で行われる全国宣伝販売促進会議において、町観光協会と一体となつてPR活動を行う。さらに当町と富山市、滑川市、立山町、舟橋村では連携して滞在型観光を推進しており、立山駅、大阪で観光客の誘致促進や知名度向上を図る。

今後とも周辺地域の観光資源との相乗効果を生み出せるよう近隣自治体と連携し、当町の魅力発信に努める。

一般質問

義務教育学校は既定ではない



碓井憲夫 議員

生徒も先生も負荷

議員 学校教育を考える審議会が行われているが「たたき台」である義務教育学校が既定の事実のように進められ、そのための行程が主題とされている。

これでは学校教育審議会とはいえない。6校ある校区の小学校と中学校を一つにまとめる義務教育学校は、上市町の未来を左右する大きな問題だ。

先生にも生徒にも大きな負荷をもたらし、校区の後退、更なる少子化の進行、不登校の増大につながることは間違いない。競争、切磋琢磨が必要だと言われるが競争からはぐれた子どもこそ教育の主役だ。小規模校、複式学級が子供の成長に良くないという根拠はな

い。多方面からの審議を進めて頂きたい。

教育長 町内の小中学校を義務教育学校1校に統合するという案は、子供の健やかな育ちのために9年間にわたって継続して見守り、きめ細かく支援でき

る環境がより望ましいのではないかと教育委員会として考え提案したもの。義務教育学校1校とする案はあくまで議論のたたき台であることをしっかりと伝えたいうえで、審議を進めてもらうようお願い、現時点では、町内の小中学校を将来的に一つにまとめるという方向で議論が進んでいる。なかには、統廃合を契機に、魅力的な学校をつくって、上市町で子供を育てたいと思わせるようにしていくべきとの意見もあるほ

ど。

そもそも義務教育学校などの小中一貫教育は、中一ギャップの解消という大きな目的があり、むしろ不登校となるリスクを軽減することにつながるものと考えている。

農林業の再生を

議員 農林業は国土の保全、気候変動、野生動物対策をになつており、地方の所得維持の役割も果たしてきたが、作り手のいない水田、手入れがされない森林が社会問題になっている。

今年の記録的な大雨は放置林の山崩れとダムに流れ込んだ無数の流木が被害を大きくした。

産業課長 安い外国資材の流入によって国産

木材の需要が落ち込み、林業従事者も減少してきた。又所有者や土地の境界が不明になっていることなどが、放置人工林が増えてきた原因であり、大きな災害を引き起こす可能性がある。

町の対策として、県の水と緑の森づくり税を活用した里山再生整備事業などといった事業に加え、令和元年度に創設された国の森林環境譲与税を活用し、

所有者を特定し、意向を確認したうえで、同意が得られた地区から、これまで3・5ヘクタールの間伐などの森林整備を進めてきた。令和3年度から森林組合が行う間伐材の搬出経費に対する町独自の補助制度を設けたほか、森林所有者から要望があつた森林整備に對して、所有者負担の一部を町が負担するなど支援に努めている。



女川地区 白岩川藤塚橋 6月30日



0円空家バンクの推移と運営は 招来魂・子供神輿のサポートを

酒井 桂之 議員

町民が幸せになる
ために

議員 0円空家バンク
の推移と運営は。

建設課長 昨年4月から無償譲渡を条件に、空家の提供者と取得希望者を結びつける0円空家バンク制度を開始したところ、昨日までに13件を登録、取得希望は117件で県外と町外から各56件、町内は5件とこれまで県外と町外からの10件を含む11件が成立し、36名の移住定住に結び付いている。今後の登録に向け、事前調査を進めている物件が20件あり、登録、契約成立に努めたい。今後の運営は、建設課の職員が引き続き担当して、空家の所有者と取得者の双方が幸せを感じるよう対応に努め、空家の増加と人口減少に歯止

めをかけるよう取り組んでいく。

招来魂・子供神輿

議員 招来魂や子供神輿などの伝統行事の維持を町としてサポートできないか。

教育委員会事務局長

「しようらいこ」や「子供神輿」などの伝統行事は、町にとって大切なものと考え、保存・継承していく主体は、守り伝えてきた地域の皆様である。町として、活動を側面より支援し、「しようらいこやぐら」の設置町内会や獅子舞等の保存団体に補助金の交付を行ってきた。少子高齢化の進展により担い手は減少し、経済的支援だけではその保存・継承が難しくなりつつある。近年では従来の町内会などの枠組を超

え、様々な連携方法を模索している地域も出てきている。地域における伝統行事の在り方や位置づけ、取り組みは一樣でなく、支援の在り方もことなっている。今後、担い手である町内や保存団体から現状や課題などの相談があればしっかりと聞き、助言や存続に向けた支援をしたい。

食事処・喫茶店の
開店

議員 食事処・喫茶店の開店の支援を。

産業課長

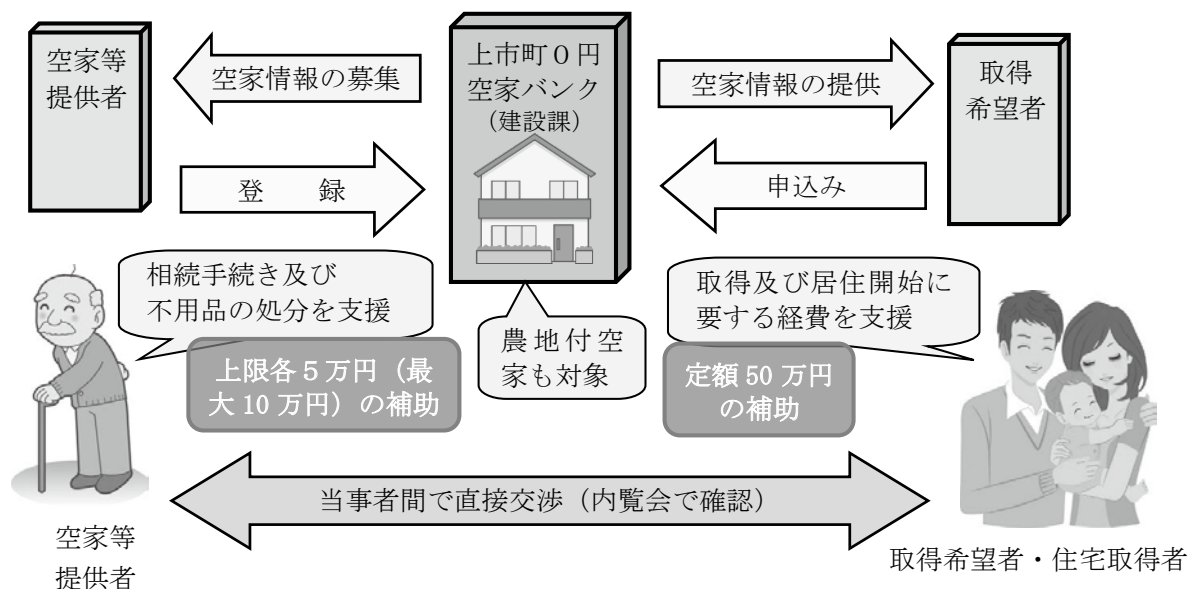
上市町には全国チェーンなど大きな飲食店がないことから、数が少ないと感じる方がいる。近年町内でキッチンカーが増え、健闘している。

飲食店をはじめとした事業者の増加により町が賑わうことは、と

でも歓迎するので、新規の創業や事業拡大などの意欲をお持ちの方

に、気軽に産業課や商工会にご相談いただき

上市町0円空家バンクのしくみ



滑川市議会・上市町議会交流研修報告

認定看護師出前講座(7月26日)

滑川市議会と交流会
 が去る7月26日に、新
 型コロナウイルス感染
 症の感染拡大の影響に
 より4年ぶりの開催と
 なりました。

研修内容は、かみい
 ち総合病院の認定看護
 師による出前講座で
 「高齢者に多い骨折・
 予防について」という
 テーマで手術室の認定
 看護師である柿森祐司
 氏に講演いただきました。

高齢者に多い骨折事
 例を取り上げて、骨折
 の原因・4大骨折の分
 類・手術方法や骨に埋
 め込む部材の紹介等・
 実際の手術の流れなど
 非常に分かり易い講義
 でした。

また、高齢者の骨折
 の最も多い原因は、「段
 差でのつまずき」であ



り、日頃から足腰の衰
 えに対する予防が必要
 であるとのことでした。
 最後に、予防運動
 の「ロコトレ」を紹介
 してもらい、参加者全
 員でやってみました。
 その後の意見交換会
 では、互いの自治体を
 よく知り、議会活動を
 高めあつていく有意義
 な情報交換ができ、今
 後の議会活動に生かし
 ていきたいと考えてお
 ります。(寺西庄司)

産業振興対策特別委員会 視察報告

笹川小水力発電所(8月28日)

令和5年6月末に竣
 工した朝日町の笹川小
 水力発電所を視察し
 た。この笹川地区出身
 の建設業者が地域活性
 化に貢献しようと起こ
 した事業で、国の再生
 可能エネルギー固定買
 取制度(FIT)を活
 用し、売電収入にて発
 電所建築費用と笹川地
 区の老朽化した水道施
 設の改修費用を賄う仕

組みを構築している。
 また、「信託方式」
 を用いて倒産の危機を
 回避し、BCPP(事業継
 続性)の確保を担保し
 ているなど、興味深い
 話が聞けた。

こういつた視察をと
 おして、町民のために
 なるような事業を提案
 するべく、議論を深め
 たい。(碓井憲夫)



笹川小水力発電所
 (朝日町笹川地区)

令和5年度 市町村議会議員研修報告

全国市町村国際文化研修所(8月17日・18日)

自治体予算を考える

地方議会は、広く住
 民の意見や要望を把握
 し、議論することによ
 って、住民の未来を創
 造する役割を担ってい
 る。地方の財政状況が
 厳しくなる中、住民の
 代表として一番身近な
 存在である地方議会
 は、まちの財政状況や
 施策を把握・議論する
 ことが、ますます重要
 となつてきている。今
 回の研修は、行政と共
 に住民のための予算を
 作成するにあたり、必
 要な知識や視点をを得る
 ことを目的とする。

研修のポイント

①自治体予算の原則・
 制度、歳入・歳出予算
 の基本的事項やチェツ
 クポイントについて学
 ぶ。

②財政診断をもとに、
 持続可能な財政運営方
 策について考える。

③地方公会計の基本的
 事項を理解し、その運
 用を学ぶ。

各ポイントについて
 武庫川女子大学の金崎
 健太郎教授に講義いた
 だいた後に事前課題の
 アンケート内容によつ
 て小グループに分か
 れ、討議を行い、最終
 コマで発表を行った。
 様々な予算用語の意味
 や企業会計との違いも
 よく理解できた。

グループワークや交
 流会をおし、他の議
 会の様子を知ることが
 でき、有意義であった。
 研修の学びを復習・研
 鑽し、今後の議員活動
 に活かして行く所存で
 ある。

(受講者 酒井一好)

町民の声 紹介



大永田
松本範雄さん

● 議会に期待することは
議会の質疑応答は活気がなく、事務的なやりとりで終始して見える。そこで傍聴者が増えれば、議員は直接町民に仕事を認知してもらえ、町民は議員や行政に自分の町のことを任せきりにならず、いい緊張感が議会に生まれるのではないかと期待している。そこでぜひ傍聴案内のPRを考えてもらいたい。

● 議会に期待することは
月日の経つのは早いもので私が上市に生まれ育つて70年。私が小中学生の頃には「北陸新幹線」や「高速道路」など考えられなかった。誠にこの世は日進月歩である、と一日の農作業を終え、家路に着く間にふと思つ時がある。一方で未だに残された富山県の多方面に渡る課題（特に農業面、工業面など）にも思いを馳せる。平和で安心安全に囲まれた「上市町」を後世に残すように頑張つていきたい。



稗 田
伊東真理子さん

● 議会に期待することは
今夏、稗田町内会では、「子供が主役」の納涼祭が4年振りに開催された。猛暑にもかかわらず、大勢の子どもたちの歓声と、老若男女の賑やかな声で、公民館は沸き返った。いつも閑散としている部落内だが、未来を託せるたくさんの子どもたちのいることが実感できてうれしかった。
私も上市生まれ、歳と共に帰巢本能のゆえんか、終の棲家は劔岳の麓の我が故郷との想いが、揺るがなくなっている。
今この町で育つ子どもたちにも、「いつかは地元に戻りたい」と、強力な心の磁石になるような、有形無形の校外体験をたくさん積ませてあげたい。

● 議会に期待することは
詳細には疎いですが、自利他利と亡き父から教えられて育つた。各議員さんには、地元からの要望が託されているのだから、声をだすことのできない、乳幼児や小中学生たちが、「上市大好き！」と、地域への愛着を抱くような施策にも、大局的な観点で取り組んでいただきたい。
因みに私も、「隼より始めよ」に習つて、町内の子どもたちとも触れ合つて行きたいと願つてい

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。



お知らせ

「声」の募集

町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。（定例会終了後約2カ月後に更新されます。）

議会会議録検索

<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>



議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 松本 寛 |
| 副委員長 | 酒井 一好 |
| 委員 | 廣田 透 |
| | 椎名 寛子 |
| | 當波 紀子 |
| | 廣田 泰三 |
| | 堀田喜久男 |

編集後記

新体制となり2年間、議会広報特別委員会委員長として広報誌づくりに携わってきました。
原稿のチェックや締め切りの遵守など地味ながらも確実にこなさなければならぬ作業の苦勞を身に染みて実感しました。誤字・脱字はないか、というプレッシャーは発行してからも、しばらく残ります。
発行できて当たり前で、間違えたら悪目立ちする割に、うまくやってもほほ顧みられることのない地味な仕事です。
そんな縁の下の力持ちに、私の生活も支えられているのだと感じ、感謝せねば、と心を新たにしました次第です。
(松本 寛)

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-2550 FAX076-472-1115 ホームページ<http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>

